

【南区】令和 5 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 5 年 6 月 8 日（木） 午前 9 時 50 分～10 時 40 分
場 所	南区役所 7 階 701～703 会議室
出席者	<p>【座 長】遊佐大輔議員</p> <p>【議 員：3 名】高田修平議員、仁田昌寿議員、渋谷健議員</p> <p>【南 区：24 名】高澤和義区長、川合裕子副区長、 木村博和福祉保健センター長、 大塚貴司福祉保健センター担当部長、 村上一徳土木事務所長、今山徹南消防署長（災害対策 担当部長）ほか関係職員 18 人</p>
議 題	令和 5 年度 南区個性ある区づくり推進費 執行計画等について
発 言 の 旨	<p>【渋谷議員】 11 ページの「いきいきふれあい南なんデー」について、以前は大岡健康プラザや大岡はらっぱで開催していたと記憶しています。今年区役所と公会堂で開催するとのことですが、大岡へは戻さないのですか。大岡で開催して欲しいという声も地域にはあるようですが、今後の方針はどうでしょうか。</p> <p>【鳥居 福祉保健課長】 4 月の実行委員会においても、様々な意見をいただきました。大岡で開催したいという声、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したとはいえ、感染症がなくなったわけではなく心配する声、区制 80 周年であり講演会の開催、また活動の発表の場として公会堂を使用したいという声もいただきました。今年度は、公会堂と区役所で開催することが実行委員会で決まりましたが、いただいた声も参考にし、来年度、場所も含めて検討させていただきますと思っています。</p> <p>【渋谷議員】 分かりました。 次に、20 ページ「庁舎内における電話通信障害を改善するために、PHS 電話システムを一部導入します」とありますが、区役所が移転し数年経っているのに、今更、電話通信障害とはどういうことですか。なぜ、今更電話システムを改善しないといけないのですか。</p> <p>【森田 総務課長】 コードレス電話機を製造するメーカーが限られていて、同一メーカーの同一周波数帯のコードレス電話機を複数使用せざるを得ず、電波障害が起きています。区役所が移転した頃からそのような状況です。こちらの声を</p>

発言の
要旨

聞き取り難い、回線が混線している等の事象が発生しています。PHS電話システムは、電話交換機に専用の基盤、執務室内にPHS用のアンテナを設置し、コードレス電話の親機とPHSを紐づけることで、子機同様に通話ができます。その場合、通信障害は改善されますので、PHS電話システムの導入を考えています。

【渋谷議員】

区役所が移転してからずっと障害が発生していたということですか。

【森田 総務課長】

そうです。

【渋谷議員】

なぜ、早く改善しなかったのですか。電話システムを導入するときに予見できなかった、システム会社のミスではないですか。

【森田 課長】

コードレス電話機、いわゆる親子電話機が少なくなってきた中で生じている状況です。区役所としても、対策をもう少し早く検討するべきだったと思っています。

【渋谷議員】

分かりました。頑張ってください。

【仁田議員】

執行計画について、何点か、確認の意味も含めて伺いたいと思います。初めに、7ページの「商店街等活性化支援事業」についてです。新規でクーポンマップを作成・配布することは、これまでの区づくり推進費単独事業をさらに効果あるものにするという意味での一つの考え方だと思いますが、先日議決した地方創生臨時交付金を財源とした補正予算で経済局の事業として、商店街のイベント販促やプレミアム付商品券を発行する場合の支援があり、より効果的にとの観点で議論をさせていただきました。南区内には弘明寺、横浜橋という大きい商店街はあるものの、そこまでの事務局機能が難しい商店街もあるので、商店街朝市のような事業が進展していくと良いと思います。さらに、経済局の事業と区の商店街等活性化支援事業をうまく連動させながら、という考え方は難しいのでしょうか。

【斎藤 地域振興課長】

仁田先生から大変難しい課題をいただいたと思います。商店街全体の活性化のイベントについては、経済局の補助金を主に使いながら、時期が合わないものや小規模なものについては、区づくり推進費予算で、同じような条件で補助を出しています。しかし、事務局機能の低下、商店街に加入している店舗が減っている等、商店街でイベントを実施できていないという問題があります。その問題を側面から支えるのが、区役所の役割だとは

発言の
要旨

思っていますが、一つ一つの個店の力もつけていっていただきたい部分もあります。そこで、区制 80 周年ということで、ご協力いただける商店の皆さんには、お店に立ち寄ると割引が効く、記念品が貰える等のクーポンが付いたマップを作り、商店街の中を回遊し、さらに他の商店街にも行っていただけることを検討しています。

【仁田議員】

分かりました。今後、経済局の事業とマッチングさせ、大事な商業資源である商店の皆さんの活性化を考えていきたいと思えます。今後も検討等をしていきたいと思えますのでよろしくお願いします。

次に、8 ページの「南区読書活動推進事業」についてです。非常に重要な事業だと思っていますが、会場として公会堂等を使用せず、関東学院中学高等学校をお借りするのは、何か意味があるのでしょうか。

【井上 読書活動推進担当課長】

関東学院中学校高等学校の礼拝堂を貸していただく理由は、ネームバリューのある先生に講演会の講師の依頼を調整している中で、先生の日程と公会堂の日程が合わなかったためです。

【仁田議員】

分かりました。

【斎藤 地域振興課長】

付け加えますと、公会堂の収容人数は 600 人で関東学院の収容人数は 1000 人近くあるということ、在学生やその保護者の方にもご参加いただけることも考慮しました。また、これまで南区として、学校を地域資源として活用しきれていなかったこともあり、良い機会と捉えて決めさせていただきました。

【仁田議員】

良く分かりました。大変大事な取組だと思えました。

次に、10 ページ「子育てオンライン相談事業」について、「保育・教育コンサルジュの専用端末を購入した」ことについてです。保育・教育コンサルジュへの相談を電話や窓口に来てもらうことに加え、端末によりオンラインで受けられるのは良いことだと思います。そのためだけに、この専用端末を購入したということでしょうか。また、専用端末である必要性ですが、相談するだけなら既存の端末を活用できないのでしょうか。

【角田 学校連携・こども担当課長】

専用端末（パソコン）1 台を購入しました。他にも端末はありますが、他に様々な用途がございます。オンライン相談の需要は高いと考え、専用端末を購入しました。

【仁田議員】

分かりました。使用頻度が高いのであれば嬉しい話です。（保育・教育）現場で、保護者の皆さんから相談があることも実態としてよく分かってい

発 言 の
要 旨

ますので、さらなる活用をお願いしたいと思います。

次に 11 ページ「健康づくり推進事業」についてです。南区の大きな課題である健康寿命の問題からすると、生活習慣病の発症・悪化を予防するための講座はとても大事だと思います。これまでもそういう趣旨のものは行われていたと思いますが、何が拡充されるのでしょうか。

【鳥居 福祉保健課長】

コロナ禍においては十分に実施できていないことはありましたが、今までも、区役所で講座の開催などは行っていました。今年度は、引き続き講座を行うとともに、地域に出向いて攻めの姿勢で、いろいろな機会を通じて講座等を開催していきたいと思っています。具体的には、現在調整しているところですが、例えばスーパーや商店など、不特定多数の方が集まる場所で、今までなかなかアクセスできなかったような方々へのアプローチを行い、健康チェック等をしていただけるような取組を、新たに実施していきたいと考えています。

【仁田議員】

分かりました。

次に、15 ページ「みなみ減災推進事業」についてです。「共助」がとても大事ですが、資料には「共助」を説明する文章だけしか載っていません。「共助」を進めていくため、行政の後押しが必要だと思いますが、非常に難しい課題だと思います。「共助」の進め方は検討の余地があると思いますが、より充実した方向に進める方針はありますか。

【石川 高齢・障害支援課長】

基本的に災害時は、ご自身で身を守って、ご自身で避難していただくことが基本だと思います。しかし、お身体の不自由な方等、ご自身で避難行動ができない方については、ご近所の方、地域の方のご協力をいただく必要があります。そのために資料の 15 ページにある「災害時要援護者支援事業」を高齢・障害支援課と総務課防災担当で協力しながら進めています。まず、要援護者名簿を各自治会・町内会ごとに提供します。その名簿を活用した「共助」の進め方について、地域の方の質問・疑問に対して個々に対応し、様々な形で防災に関する地域の方への助言、アドバイス、情報提供を行っています。

【仁田議員】

分かりました。「共助」を更に推進する方法は、要援護者の皆さんにとって大事であり、地域全体で支えていく仕組みという意味で、広く、行政がどのように後押ししていくのかは今後の課題だと思います。提案できれば申し上げたいと思いますし、今後もまたご相談させていただきたいと思います。

最後に、17 ページ「交通安全支援事業」についてです。「自転車マナーアップ等の啓発キャンペーン」は「拡充」事業ではないと思いますが、執行において、中身を拡充してもらいたいと思います。特に自転車のマナーについて、未だに自転車は車両であるという意識をほとんど持っていないことです。例えば、平戸桜木道路と南太田のところを自転車で走ることは

発 言 の
要 旨

認められていますが、歩行者と様々な障害があり、時に非常に危険な状況であると地域の皆さまから聞いています。自転車の運転者には地域の方ではない方が大勢いるので、啓発は難しいと思いますが、もう少し力を入れていく必要があると思います。また、ヘルメットの普及についても、供給側の在庫がないこともあり、ほとんど進んでいない状態だと思います。今後も、身近な交通機関である自転車が普及していくことは良いことだと思いますが、マナー等安全意識をどう啓発してくかはとても大事だと思います。執行計画で「キャンペーンを行います」とありますが、今後、何を強化していくのでしょうか。

【齋藤 地域振興課長】

ご指摘のとおり、南区で発生している事故は高齢者が関わる事故が一番多く、その次に二輪車・自転車が多くの統計上も出ています。努力義務ですが、4月から大人も自転車に乗るときはヘルメットを付けるということになり、警察も区も非常に意識をして取り組んでいます。5月は自転車のマナーアップキャンペーンの時期でしたが、それにかかわらず、春夏秋冬それぞれのキャンペーンには必ず自転車のことを取り入れて、警察の方に講話をしていただくなど、自転車の乗り方マナーを取り扱っています。

【仁田議員】

なかなか啓発は届きにくいですね。現実には事故は起きていますし、危ない、ヒヤッとしたとの声はたくさん聞いています。何とかしないとイケないと思います。

事故が起きている場所や、走りやすくスピードが出やすい場所に、のぼり旗を立ててはどうでしょうか。功罪ありますが、道路の沿線に何らかの啓発できるものを設置することを今後の執行計画の中で検討してもらえると良いと思います。何らか対策をしないと、大きな事故に繋がる危険性を日常的に感じますので、是非何かご検討いただけるよう要望します。

【齋藤 地域振興課長】

ありがとうございます。

【遊佐議員（座長）】

私からも何点か質問します。

先ず、17 ページの「交通安全支援事業」についてです。「ランドセルカバーを作成します」とありますが、進捗状況を教えてください。

【齋藤 地域振興課長】

南区ではこれまで、南交通安全協会が新入学児童の数を調べて、入学式に配付していました。1年間カバーを付けていると、相当傷めるお子さんも多く、数年前に南交通安全協会から材質を良いものにしたというご相談がありました。その際に、桜の花のキャラクター「みなっち」を付けて子どもたちが南区に愛着を持てるような形としたいとのご相談もあり、その時から、区予算の中から何とか捻出して、一部経費を負担しています。

発 言 の 旨
要

今年も、「みなっち」が付いたカバーを小学1年生が付けてくれていると思います。ご相談のあった時期の関係で、2年間予算化するタイミングがありませんでしたが、今回改めて予算化させていただきました。今後も、長く続けていきたいと思っています。

【遊佐議員（座長）】

反響が良いようで、喜ばれているみたいですね。

次に、脱炭素の件ですが、昨年度、脱炭素議連が発足しまして、私は事務局長に就任させていただきました。東北の秋田県湯沢市と地熱発電のエネルギー協定を正式に結んだり、他にも、横浜市では電力を使う側にあたりますが、東北各地の電力を作る側と協定を結んだり、今、様々な取組を進めているところです。実際に、議連としても、これから活動を始めようと模索しているところです。横浜市、あるいは南区など、身近なところのエネルギーがどこで使われているか、そういうことも身近なテーマとして子どもたちに教え伝えていけるような機会があれば良いと思っています。資料16ページの「脱炭素行動PR事業」について、「講演会を開催します」と書いていますが、この講演会の内容を教えてください。

【高村 区政推進課長】

講演会の内容は、脱炭素社会の実現に向けて、夏休み期間中に小学生とその保護者の方を対象に、お家の省エネ度が分かる「うちエコ診断」や、窓断熱のDIYなど、親子で気軽に取り組めるような省エネ術の紹介を予定しています。参加者には、脱炭素社会に向けて行動を変えていただくきっかけづくりとして、LED電球の配布を考えています。

【遊佐議員（座長）】

分かりました。幅広いテーマだと感じました。区役所の皆さんも、議会の中で脱炭素社会に向けた取組があるということ踏まえ、これからも活動を進めていただきたいと思います。

最後になりますが、近年は異常な暑さで、消防、土木、資源循環局の現場に出る職員の暑さ対策は、現状どのようにしているのですか。今年は特にこうやりますとか、うちの部署ではこう対策していますとか、あれば教えてください。

【金子 土木事務所副所長】

土木事務所では、整備班という、直接道路を補修する部隊が約10人います。その職員が熱中症になる危険は、近年、この暑さの中で非常に高くなっています。南土木事務所としては、まずは、各自でしっかりと健康管理を行うように話をしています。その上で、もし体調が少しでも悪くなった場合は躊躇することなく救急車を呼ぶように話しています。これから、もう少し暑くなった場合は、塩飴や飲料など所内でも水分補給が気軽にできるような対策をします。

【天野 資源化推進担当課長】

所内には現場の職員がいて、土木事務所と同じように、日々の健康管理、こまめな水分補給、体調管理として体温計測などを行っています。

発言の旨
要

また、現場に出るときには、熱中症対策を併せて行うということで、作業中はマスクを外して作業する、市民対応の時にはマスクを付けるというように、メリハリをつけて作業をしています。また、土木事務所と同じように、夏季には塩タブレットなどを配付して、職員の健康管理を行っています。

【今山 消防署長】

消防については、災害活動という特殊な面がありますので、どうしても、真夏でも重装備、防火装備は脱げない状況です。これからの季節で、災害対応のように活動が長期間に及ぶ場合は、各本署、出張所の大型専用冷蔵庫で冷やしているペットボトルや冷却材などを、通常は事務を行っている日勤者が災害現場に届けるといった対策をとります。

【遊佐議員（座長）】

ありがとうございます。現場の皆さん、本当に大変だと思いますが、是非気を付けながら対応をお願いします。本局の方からもしっかりと支援をしてもらえるように、もし我々の方でお役に立てることがあれば進めていきたいと思っておりますので、言っていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

【高田議員】

21 ページ「みなみ多文化共生推進事業」の「学校を核にした多文化共生事業」について、「新たに、外国籍等の生徒が多い中学校も対象とし」とありますが、こういった外国籍が多い少ないというのはどういった基準で決められているのですか。

【角田 学校連携・こども担当課長】

教育委員会の資料から、外国籍、あるいは外国につながる児童・生徒が、生徒全体の10%を超えている学校を対象にこの事業を実施しております。

【高田議員】

様々な学校に外国籍の生徒等が通っていると思います。資料に「学校の要望に合わせたプログラムを実施します」とありますが、学校側からうちの学校で行って欲しいと要望があった時に、10%に達していない場合は行えないということでしょうか。

【角田 学校連携・こども担当課長】

現状、10%を一つの目安にはしていますが、10%未満の学校であっても要望があれば、きちんと検討し、対応していきたいと考えています。

【高田議員】

外国籍の生徒が多い学校に限らず、少ない小中学校でも理解を深めたいという学校もあり要望があると思います。そういった学校への拡充もよろしくをお願いします。

【遊佐議員（座長）】

よろしいでしょうか。他にご発言もないようでございますので、この程度にとどめたいと思います。以上で、本日の議事は終了いたしました。なお、本日の議事の概要を市会議長に報告いたしますが、報告書の作成につきましては座長の私に御一任いただけますでしょうか。

【議員一同】

異議なし

【遊佐議員（座長）】

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。以上で、本日の予定はすべて終了いたしました。